

立教大学学術推進特別重点資金（立教 S F R）
プロジェクト研究（単独研究科プロジェクト研究）
2004年度研究成果報告書

研究科名	立教大学大学院 文学 研究科	
研究課題	人文資料学の未来 -情報メディアの「中心性」と「周縁性」に関する史的研究-	
研究代表者	所属・職名	氏名
	文学部・史・教授	浦野 聡 印
研究組織	所属大学名等・職名	氏名
	文学部・キ・教授	名取四郎
	文学部・史・教授	青木康
	文学部・日・教授	小峯和明
	文学部・フ・教授	菅谷憲興
	文学部・史・教授	深津行徳
	文学部・キ・教授	竹原創一
	文学部・英米・教授	藤巻明
	文学部・ド・助教授	星野宏美
	文学部・フ・教授	細川哲士
	文学部・ド・教授	前田良三
	学芸員課程・教授	山浦清
	文学部・キ・教授	月本昭男
	文学部・英米・教授	後藤和彦
文学部・英米・教授	蒲池美鶴	
研究期間	2004 年度	
研究経費	5,180 千円	

研究の概要 (200~300字で記入、図・グラフ等は使用しないこと。)

本研究は、ヨーロッパ、オリエント、地中海、東アジア、イスラーム諸世界における、羊皮紙、粘土板、木片、竹片、パピルス、石、金属、紙などの文字・イメージ伝達媒体（メディア）の形状・様式・形式・様態・材質等と、それらに記録された内容や、それらからえられるあらゆる情報の関係に関する、時代別、地域別の事例研究を踏まえた総合研究の試みである。

カバーする学問分野は、歴史学、文学、人類・考古学、音楽学、図像学、人文メディア学である。

キーワード (研究内容をよく表しているものを3項目以内で記入。)

[資料学] [人文学] [メディア]

研究成果の概要 (図・グラフ等は使用しないこと。)

1. 人文学研究会で行った、各研究分担者による問題点の抽出と問題意識の共有。

第 1 回人文学研究会

星野宏美「西洋音楽史研究と資料 - メンデルスゾーンの自筆譜を例にして - 」

山浦清「考古学研究と資料」

小峯和明「琉球文学の資料学をめざして」

第 2 回人文学研究会

青木康「18 世紀イギリス下院議員選挙研究 - ベリ・セント・エドマンズ市の事例から」

藤巻明「S・T・コールリッジとジャーナリズム - Morning Post と Courier への寄稿を中心として」

細川哲士「ある農学者の話：オリヴィエ・ド・セール(Olivier de Serres 1539-1619) のこと」

人文学研究会で行った問題点の抽出については、その後の研究成果を加えて出版を予定している。浦野聡・深津行徳編『人文資料学の現在』(春風社、2005 年 12 月刊行予定)。

2. 国際シンポジウム「歴史的コンテクストのなかにおける文化財(古代文字史料)の『中心性』と『周縁性』」の開催。

過去の社会像を再構成するための史・資料について、いままでは、「中心性」資料として文献資料・編纂資料、すなわち国家が編纂した歴史書等を位置づけ、「周縁性」資料として木簡などを位置づけるという図式で捉えられてきた。しかしロジャー・トムリン報告は、ローマ辺境の軍隊に関係する文書が中央と同じ形の文書で行われていることを明らかにし、アラン・ボウマンはローマ属州の州都に公文書保管所があることを報告した。いっぽう寺崎報告、平川報告によって、日本社会の「周縁」からも文書が出土することが指摘された。また、「周縁」社会で文書や文字がどのように受け止められたかという点について、新川報告、マッシューズ報告は、それを、文化的、あるいはメンタリティ的な背景とともに理解しようとし、さらに、「周縁」社会で文字あるいは文書がシンボルとして存在することが、チャールズ・クラウザー報告、平川報告、富谷報告によって明らかにされた。石上報告、李成市報告、浦野報告で提案された、「周縁」の資料から「中心」を明らかにするスタンスが、あたらしい史・資料学構築のための重要な第一歩となるであろう。

3. 現地調査の実施。これまで研究の蓄積がある各研究分担者が今回のテーマに関してそれぞれの問題関心にもとづき現地調査を行った。以下「目的」は、「達せられた目的」を意味する。

連合王国(浦野、藤巻、蒲池)

目的：国際シンポジウム準備、および史料調査(オックスフォード大学、CSAD およびボードリアン図書館)

期間：2004 年 7 月 15 日～9 月 1 日

目的：イギリス・ロマン主義詩人 S・T・コールリッジ関連記事閲読(大英図書館)

期間：2005 年 3 月 13 日～14 日

目的：ヘルメスの自然魔術、およびジュリオ・カミッロ関連資料収集(大英図書館、ウォーバーク研究所)

期間：2005 年 3 月 16 日～31 日

アメリカ合衆国(深津、小峯)

目的：国際シンポジウム準備、出版社との研究成果出版に関する交渉(ハワイ大学図書館、出版局)。

期間：2004 年 7 月 15 日～7 月 21 日

研究成果の概要 つづき

目的：源氏物語シンポジウムでの報告（於：ニューヨークコロンビア大学。論題：「お伽草子と説話世界の『源氏物語』」

期間：2005年3月23日～28日

ドイツ共和国調査（星野）

目的：メンデルスゾーン自筆譜、初版楽譜、手紙他関連資料調査（ベルリン国立図書館）

期間：2004年12月24日～2005年1月4日

イタリア共和国調査（浦野、深津）、（長谷川、研究協力者）

目的：ナポリ考古学博物館における碑文・パピルス調査。ヘルクラネウム遺跡、コピア遺跡、ウェリア遺跡調査

期間：2004年12月28日～2005年1月6日

トルコ共和国（浦野、深津）、（後藤篤子、斎藤優子、以上委託者）

目的：オスマン古文書館、シュレイマニエ図書館、イスタンブル大学旧図書館、アタチュルク図書館における、19世紀末から20世紀初頭のイズミル市、オデミシュ市の地図・関連文献調査

期間：2004年12月21,22日

目的：オデミシュ市役所におけるオスマン期の地図調査、およびオデミシュ考古学博物館における碑文資料の所在確認調査

期間：2005年1月31日～2月2日

目的：アンタルヤ考古学博物館、フェティエ考古学博物館、ムーラ考古学博物館、アイドゥン考古学博物館、オデミシュ考古学博物館における碑文調査。ロディアポリス遺跡、オエノアンダ遺跡、トロス遺跡、ストラトニケイア遺跡、パナマラ遺跡、マグネシア遺跡調査

期間：3月11日～28日

4. 以下は、今回の研究成果報告書としての英文論文集の論文タイトルである。

The World of Ancient Eastern Asian Documents (Ki-Tong LEE, Professor, Dongguk University); The World of Ancient Greco-Roman Documents (Alan K. BOWMAN, Professor, Oxford University); Cultural and Spiritual World of the Chinese Characters in the Ancient East Asia: form the Japanese Viewpoint (Tokio SHINKAWA, Professor, Waseda University); (Elaine MATTHEWS, Lexicon of Greek Personal Names, St. Hilda's Collage, Oxford University); Law Codes Tablets from the Ancient Chinese Frontier (Itaru TOMIYA, Professor, Institute for Research in Humanities, Kyoto University); Scripts in the Social Contexts of Ancient Japan (Minami HIRAKAWA, Vice President, Professor, National Museum of Japanese History); Management and Ruling System of the Korean Forts - Wood Tablets from Jozan-Sanjo in the Southern Korea (Sung-Si LEE, Professor, Waseda University); Inscribed Land and Human Lists under the Later Roman Empire - Their Social and Financial Meanings (Satoshi URANO, Professor, Rikkyo University); Imperial Capitals and Wooden Tablets in the Ancient East Asia (Yasuhiro TERASAKI, Professor, Nara University). Words from the Western Frontier: Roman writing-tablets from Wales and Carlisle (Roger S. O. TOMLIN, Director, Roman Inscriptions of Britain III, Wolfson Collage, Oxford University)

※ この（様式2）に記入の成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書（A4縦型横書き1枚・自由様式）を添付すること。